



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年7月31日

上場会社名 日本ケミファ株式会社
 コード番号 4539 URL <http://www.chemiphar.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山口 一城

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 中島 慎司

TEL 03-3863-1211

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	7,196	13.3	32		68		19	95.3
2020年3月期第1四半期	8,304	2.8	666	53.4	596	26.2	420	47.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 112百万円 (77.6%) 2020年3月期第1四半期 502百万円 (381.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	5.45	
2020年3月期第1四半期	116.89	

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	47,705	17,324	36.3	4,811.70
2020年3月期	45,862	17,392	37.9	4,830.92

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 17,298百万円 2020年3月期 17,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		50.00	50.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,000	3.9	600	64.5	500	62.9	300	31.3	83.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	4,261,420 株	2020年3月期	4,261,420 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	666,426 株	2020年3月期	666,386 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	3,595,007 株	2020年3月期1Q	3,595,222 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、[添付資料]P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記).....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記).....	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動).....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用).....	8
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示).....	8
(セグメント情報等).....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気は急速に後退し、個人消費や企業収益など、ほぼすべての指標が悪化しました。海外経済も同じく新型コロナウイルス感染症の影響が深刻であり、一部の地域を除き経済活動の再開後も低迷傾向に歯止めがかからず、極めて厳しい状況が続いています。

医薬品業界につきましては、4月に通常の薬価改定が行われ、薬剤費ベースで4.38%の引下げとなりました。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響が医療業界にも波及する中で、2021年度から導入される予定の中間年改定のための薬価調査について、新型コロナウイルス感染症への対応を最優先することや、かかる状況下で通常の医薬品流通の状態ではないことなどを理由に、三師会、医薬品卸連、日薬連が調査の見送りを求めています。政府は「新型コロナウイルスの影響を考慮した上で十分に検討し、決定する」とし、調査の範囲や改定のあり方は今後も検討を行うものの、薬価調査そのものについては予定通り実施するとしています。

当社グループにおきましては、5月にマイランEPD合同会社との間でマクロライド系抗生物質製剤「クラリシッド」3製品の日本における販売移管、商標権使用許諾および製造販売承認の承継に関する基本契約を締結し、7月より独占販売を開始しました。また、6月にはアルツハイマー型認知症治療剤の「メマンチン塩酸塩OD錠『ケミファ』」など、ジェネリック医薬品5成分9品目を発売しています。

(医薬品事業)

ジェネリック医薬品については、薬価改定の影響や競争激化などに加え、新型コロナウイルス感染症による患者さんの受診抑制の影響で市場自体が縮小傾向となったことから、前年同期比13.4%の減収となりました。主力品・新薬については、薬価改定やジェネリック医薬品への置換などによる影響を受けていることに加えて、昨年度から販売を開始した腸管洗浄剤「ピコプレップ配合内用剤」についても新型コロナウイルス感染症の影響により医療機関における検査件数が一時的に減っていることなどから、前年同期比19.4%の減収となっています。

以上の結果、ジェネリック医薬品と主力品・新薬を合わせた医療用医薬品の売上高は6,461百万円(前年同期比13.7%減)となりました。また、製造受託なども含めた医薬品事業全体の売上高は7,146百万円(前年同期比13.0%減)、営業利益は9百万円(前年同期比98.7%減)となりました。

(その他)

主に受託試験事業、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業である「その他」の事業の業績は、受託試験事業の受注のタイミングがずれたことなどにより、売上高は49百万円(前年同期比44.2%減)となり、42百万円の営業損失(前年同期は33百万円の営業損失)となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7,196百万円(前年同期比13.3%減)、営業損失は32百万円(前年同期は666百万円の営業利益)、経常損失は68百万円(前年同期は596百万円の経常利益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19百万円(前年同期比95.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

1)資産

流動資産は前期末に比べて1,129百万円増加し、30,443百万円となりました。これは、主に現金及び預金の増加によるものです。

固定資産は前期末に比べて713百万円増加し、17,260百万円となりました。これは、主にクラリシッドの販売権の計上によるものです。

この結果、総資産は前期末に比べて1,842百万円増加し、47,705百万円となりました。

2)負債

流動負債は前期末に比べて636百万円増加し、14,376百万円となりました。これは、主に短期借入金及び未払金の増加によるものです。

固定負債は前期末に比べて1,273百万円増加し、16,003百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は前期末に比べて1,910百万円増加し、30,380百万円となりました。

3)純資産

純資産合計は前期末に比べて67百万円減少し、17,324百万円となりました。これは、主に配当金の支払いなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点におきましては、2020年5月18日に公表した業績予想を変更しておりません。

なお、薬価制度の抜本改革が推進されるなど事業環境の厳しさが増しており、急激な事業環境の変化に迅速に対応し、持続的な成長を実現する事業構造への転換を図るため、従前実施してきた経営効率化策に加えて、さらなる構造改革の取り組みを実施することとしました。(詳細は、2020年7月22日公表の「グループ構造改革実施のお知らせ」をご参照ください。)

本施策の実施および新型コロナウイルス感染症の影響により業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,079	11,789
受取手形及び売掛金	7,368	6,953
電子記録債権	3,993	3,830
商品及び製品	4,400	4,558
仕掛品	1,249	1,375
原材料及び貯蔵品	1,615	1,547
未収還付法人税等	161	117
その他	446	272
流動資産合計	29,314	30,443
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,521	5,409
機械装置及び運搬具(純額)	2,014	1,874
工具、器具及び備品(純額)	344	318
土地	5,064	4,831
リース資産(純額)	240	239
有形固定資産合計	13,185	12,674
無形固定資産		
特許権	25	24
販売権	100	1,162
リース資産	32	33
ソフトウェア	146	138
電話加入権	18	18
無形固定資産合計	324	1,377
投資その他の資産		
投資有価証券	1,853	1,979
長期前払費用	318	301
敷金及び保証金	94	90
繰延税金資産	419	485
その他	412	412
貸倒引当金	△61	△61
投資その他の資産合計	3,037	3,208
固定資産合計	16,547	17,260
繰延資産		
社債発行費	0	0
繰延資産合計	0	0
資産合計	45,862	47,705

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,745	1,630
電子記録債務	5,436	5,053
短期借入金	400	790
1年内返済予定の長期借入金	2,660	2,806
リース債務	104	104
未払金	240	623
未払法人税等	63	59
未払消費税等	72	70
未払費用	2,143	2,238
預り金	136	222
返品調整引当金	1	0
販売促進引当金	395	349
その他	339	426
流動負債合計	13,739	14,376
固定負債		
社債	200	200
長期借入金	11,537	12,926
リース債務	198	197
役員退職慰労引当金	445	440
退職給付に係る負債	590	549
再評価に係る繰延税金負債	1,115	1,047
その他	642	642
固定負債合計	14,730	16,003
負債合計	28,470	30,380
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,304	4,304
資本剰余金	1,303	1,303
利益剰余金	12,186	12,180
自己株式	△3,187	△3,187
株主資本合計	14,607	14,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	571	661
土地再評価差額金	2,513	2,357
為替換算調整勘定	△62	△65
退職給付に係る調整累計額	△262	△257
その他の包括利益累計額合計	2,759	2,697
新株予約権	25	26
純資産合計	17,392	17,324
負債純資産合計	45,862	47,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	8,304	7,196
売上原価	4,598	4,640
売上総利益	3,705	2,555
返品調整引当金戻入額	0	0
差引売上総利益	3,706	2,556
販売費及び一般管理費	3,039	2,589
営業利益又は営業損失(△)	666	△32
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	25	14
固定資産賃貸料	1	1
持分法による投資利益	5	5
その他	3	2
営業外収益合計	36	24
営業外費用		
支払利息	30	30
為替差損	67	24
支払手数料	1	1
その他	6	4
営業外費用合計	106	60
経常利益又は経常損失(△)	596	△68
特別利益		
固定資産売却益	-	56
特別利益合計	-	56
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	596	△12
法人税、住民税及び事業税	236	144
法人税等調整額	△59	△176
法人税等合計	176	△31
四半期純利益	420	19
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	420	19

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	420	19
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	90
為替換算調整勘定	56	△2
退職給付に係る調整額	13	5
その他の包括利益合計	82	93
四半期包括利益	502	112
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	502	112
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	8,214	89	8,304	—	8,304
セグメント間の内部売上高又は振替高	3	0	3	△ 3	—
計	8,218	89	8,307	△ 3	8,304
セグメント利益又は損失(△)	700	△ 33	666	—	666

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1) 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	医薬品事業				
売上高					
外部顧客に対する売上高	7,146	49	7,196	—	7,196
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	0	△ 0	—
計	7,146	49	7,196	△ 0	7,196
セグメント利益又は損失(△)	9	△ 42	△ 32	—	△ 32

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、安全性試験の受託等、ヘルスケア事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。